

# 地震一口メモ No. 206

## 「防災の日」に防災・減災について考えよう

訓練を通して災害時の行動や日頃からの備えを見直しましょう

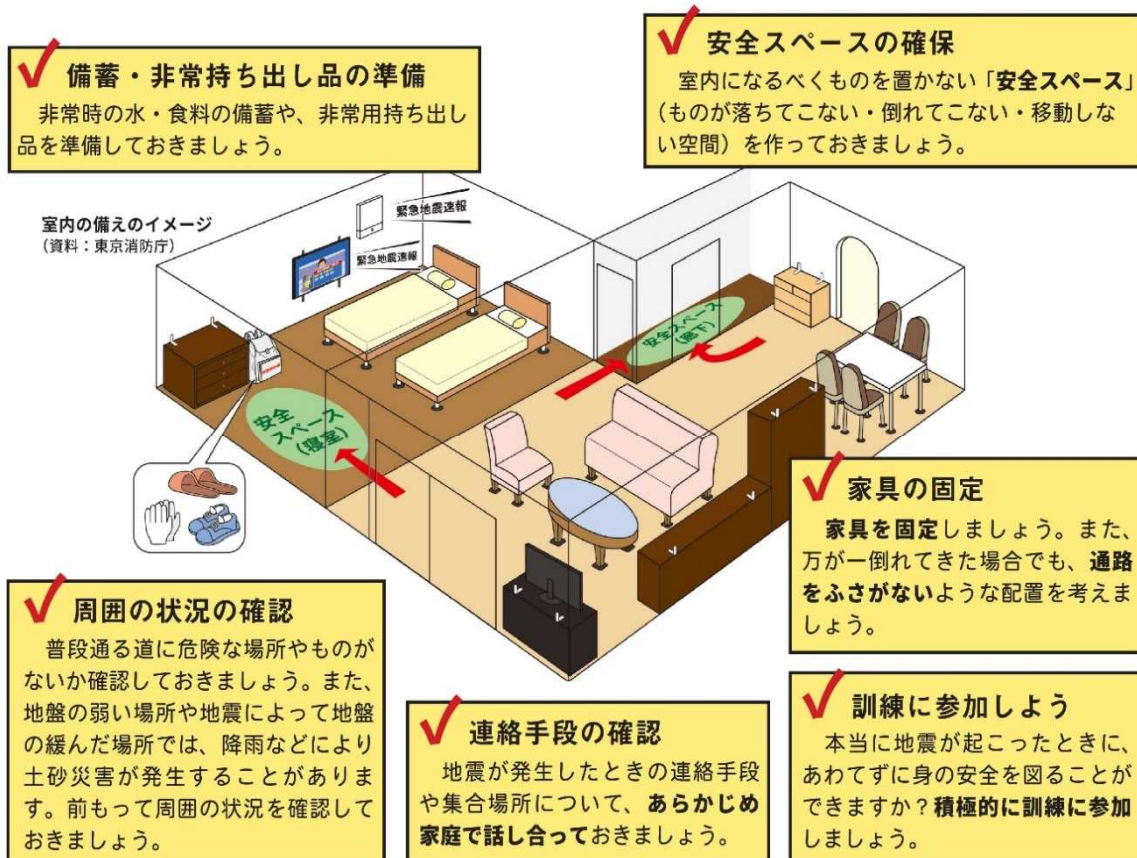
9月1日は「防災の日」、8月30日から9月5日は「防災週間」となっています。9月1日は、1923年に関東地震（関東大震災）が発生した日です。また、台風シーズンでもあり、1959年9月には戦後最大の被害をもたらした伊勢湾台風が発生しています。このことがきっかけとなり、1960年に、災害に対する心構えなどを育成するために「防災の日」が制定されました。

また、防災の日や防災週間には、防災訓練なども実施されます。大阪府では、9月2日に「大阪 880 万人訓練」が実施されます。13時30分頃に大地震・津波の発生を想定して、エリアメール／緊急速報メールの配信などにより、府内の皆さんに訓練として災害情報を伝達します。訓練の詳細については、大阪府のHP等をご参照ください。

防災の日、防災週間や大阪 880 万人訓練を機会に、今一度、日頃からの備えや緊急地震速報を見聞きしたときの行動を確認しましょう。家具は倒れないように固定してありますか？緊急地震速報を受け取ることができますか？緊急地震速報を見聞きしたとき、とっさに適切な行動をとれますか？備蓄・非常持ち出し品は準備してありますか？避難場所はわかりますか？家族との連絡手段や集合場所は決めてありますか？実際に災害が発生してから考えていては、間に合いません。各家庭・職場で災害への備えについて確認するなど、この機会に防災について考えてみましょう。

気象庁 HP 地震から身を守るために：

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin\\_bosai/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/index.html)



室内の備えのイメージ (資料：東京消防庁)

**地震はいつどこで発生するかわかりません  
いざというときのために、取るべき行動を日頃から訓練しておくことが大切です**